

ジョニーは戦場へ行った (1971)

JOHNNY GOT HIS GUN

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 112分

初公開日 1973/04/07

公開情報 ヘラルド

【キャッチコピー】

かつてないみずみずしさと美しさで 執念の鬼才ドルトン・ランボが描く 青春の輝き、生きることの強さ、尊さ、素晴らしさ…

カンヌ映画祭審査員特別賞を得て本年度ベスト・ワンを狙う感動の秀作

【解説】

戦争によって“意識ある肉塊”と化したひとりの青年を描いたD・ランボの小説を、38年の発表から数えること33年、ようやく自身の脚色・初監督で完成させた異色作。ジョーは今、野戦病院のベッドで静かに横たわっている。第一次大戦の中、彼はほとんどの器官を失う大怪我を負いここに運ばれてきたのだ。目も見えず、耳も聞こえず、喋る事もできず、唯一性器だけが人間として残された印だった。真の暗闇の中でジョーは想う。釣り好きだった父と過ごした日々や、出征前夜に恋人と交わした愛の営み……。やがてひとりの看護婦がジョーの胸に書き記した文字によって彼は外界との繋がりを持つのだが……。あまりにも辛く、あまりにも悲しい物語。現在のシーンは凍て付くようなモノクロで描かれ、歓喜に満ちた過去のシーンは色鮮やかなカラーで描かれ、そのギャップはなおさら彼を取り巻く非情さと悲劇色を強くする。お涙頂戴ものなど足元にも及ばない圧倒的な説得力を持った反戦ドラマ、ランボ渾身の一作だ。

【クレジット】

| | | | |
|-------------|---------------|-------------------|-------|
| 監督 | ドルトン・ランボ | Dalton Trumbo | |
| 製作 | ブルース・キャンベル | Bruce Campbell | |
| 製作総指揮 | トム・トライオン | Tom Tryon | |
| 原作 | ドルトン・ランボ | Dalton Trumbo | |
| 脚本 | ドルトン・ランボ | Dalton Trumbo | |
| 撮影 | ジュールス・ブレンナー | Jules Brenner | |
| プロダクションデザイン | ハロルド・マイケルソン | Harold Michelson | |
| 編集 | ミリー・ムーア | Millie Moore | |
| 音楽 | ジェリー・フィールディング | Jerry Fielding | |
| 出演 | ティモシー・ボトムズ | Timothy Bottoms | ジョー |
| | キャシー・フィールズ | Kathy Fields | カリーン |
| | ジェイソン・ロバーズ | Jason Robards | ジョーの父 |
| | マーシャ・ハント | Marsha Hunt | ジョーの母 |
| | ドナルド・サザーランド | Donald Sutherland | キリスト |
| | ダイアン・ヴァーシ | Diane Varsi | 看護師 |
| | デヴィッド・ソウル | David Soul | |
| | モーリス・ダリモア | Maurice Dallimore | |

| | |
|----------------|-------------------|
| ドナルド・バリー | Donald Barry |
| エリック・クリスマス | Eric Christmas |
| エデュアルド・フランツ | Eduard Franz |
| ケリー・マクレーン | Kerry MacLane |
| チャールズ・マックグロー | Charles McGraw |
| バイロン・モロー | Byron Morrow |
| サンディ・ブラウン・ワイエス | Sandy Brown Wyeth |